

## en-courage 直伝！留学経験者のためのキャリア講座

こんにちは、学生留学アドバイザーです。

私たちキャリア班は、2018年7月31日(火)に「en-courage 直伝！留学経験者のためのキャリア講座」というイベントを開催しました。本イベントは2018年に留学から帰ってきた2020年卒業予定の学生に向けて、留学・就活経験者からパネルディスカッションや座談会形式で話をし、ワークショップを行うことで、自らのキャリアについて考えてもらうことを目的としました。

イベントのコンテンツはかなり充実したものとなっていて、キャリア講演・パネルディスカッション・ワークショップ・座談会の4つの企画を用意しました。

- キャリア講演では、ゲストとして呼び出した en-courage 早稲田支部の指宿さんより、現在の就職活動の概略と、留学経験をどうやって生かしていくかについてお話し頂きました。帰国したばかりの学生に、キャリアについて考える際の全体像をイメージしてもらえるように努めました。
- パネルディスカッションでは、3人の多種多様なパネラーの留学経験や、それを踏まえてのキャリア観や就職活動についてお話し頂きました。留学→就職活動→キャリア、の繋がりを個人のレベルで聞いてもらうことで、今回扱っている「留学×キャリア」というテーマを”自分事”にしてもらうことを意識しました。
- ワークショップでは、キャリア講演とパネルディスカッションを踏まえて、自らの留学とキャリア観への内省を深めてもらい、その後グループ内で共有してもらいました。イベント後アンケートでも、もっとこの時間を取ってほしかったとなるほどに人気のコンテンツでした。
- 座談会では、各グループに1~2人の留学・就活経験者の先輩がつき、ざっくばらんに話すことをしました。ここで、参加者は個人的な疑問や不安を先輩にぶつけて、少しでも解消された様子が、イベント後アンケートでも伺えました。

全体を通して、それぞれの企画の時間が足りないという声を多く頂きました。

これは失敗でもあり、成功でもありました。企画当初は「どんなコンテンツが刺さって、刺さらないのか」や「イベントで完結するのではなくきっかけとなること」を意識していたこともあり、その意図通りの結果となったという点では狙い通りでした。

しかしながら、参加者の不満足は解消しなければならないので、上記の意図をしっかりと伝えて理解してもらうべきでした。大好評を頂いたと同時に、課題も見えたイベント企画でした。

満足度につきまして、参加者のイベント後アンケートでは、パネルディスカッションや座談会で先輩の話聞いたことが非常に良かったとの声が多くありました。中でも、自己理解のために具体的に何をすれば良いかがわかった、などのポジティブな感想を頂きました。全体として10段階のうち平均値が9という、高評価をいただきましたが、頂いたフィードバックを基に、今後の企画の質を更に向上していきたいと思えます。

たくさんの参加者に、より満足いただけるような機会を提供していく所存です。

最後になりますが、本イベントに参加して下さった方々、そして企画・運営のサポートをして下さった留学センターの職員の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



学生留学アドバイザー キャリア班